

クラウドインテグレーターのオルターブース、フードコートの注文・決済・呼出通知サービス「木の葉・LINEでオーダー」を福岡地所グループのエフ・ジェイエンターテインメントワークスと共同開発

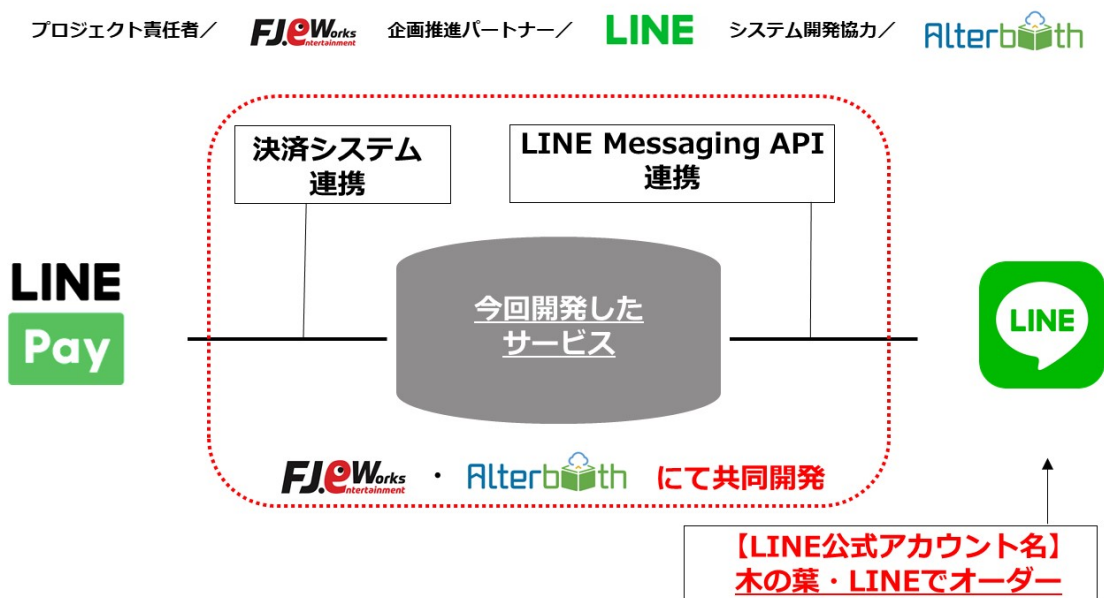
～フードコートのテイクアウト需要にも対応～

株式会社オルターブース(本社：福岡県福岡市、代表取締役：小島 淳 以下「当社」)は、LINE Fukuoka株式会社(本社：福岡市博多区、代表取締役社長 落合 紀貴)および福岡地所グループの株式会社エフ・ジェイエンターテインメントワークス(本社：福岡市博多区、代表取締役 富山 安則)とともに、株式会社エフ・ジェイエンターテインメントワークスが運営する木の葉モール橋本のフードコート内において、5月18日(月)より、飲食店での新サービスとなるLINE公式アカウントを使った注文・決済・呼出通知サービス「木の葉・LINEでオーダー」を共同開発しました。フードコート内のテイクアウト需要に対応したシステムの開発を通じて、クラウドの社会実装を実現しています。

本サービスは当社と株式会社エフ・ジェイエンターテインメントワークスにて共同開発したシステムをフードコート注文・決済・呼出通知サービス専用のLINE公式アカウント「木の葉・LINEでオーダー」及び「LINE Pay」に連携させた仕組みとなります。

本取り組みは2019年8月よりLINE Fukuoka株式会社および株式会社エフ・ジェイエンターテインメントワークスとともに、館内従業員を対象に実証実験を続けてまいりました。

実証実験では、「混雑緩和・待ち時間の効率化」「フードコートを敬遠されている層の取り込み」を導入の目的として、システムの利便性・使いやすさ・改善点などを中心に確認を行ってまいりました。



本サービスは飲食店での注文～決済、調理完了のお知らせまでを「LINE」トークルーム上で完結できる機能です。LINE公式アカウント「木の葉・LINEでオーダー」を友だち追加するだけで、トークルーム画面上で好きなメニューを注文でき、「LINE Pay」を使って決済を済ませ、トークルーム画面上で調理完了の呼出通知が届き次第受け取りに行くだけでお食事を楽しめます。

テイクアウトの注文・決済・呼出通知機能も搭載しているため、受け取り時のみの最低限の接触でフードコートメニューをお持ち帰りすることが可能になります。(一部対象外メニューあり)

今後は「混雑時でも」「小さなお子様連れでも」「買い物物をたくさんしても」「注文受け取りで何度も往復する必要な

く」効率的にフードコートをご利用いただけます。

<「木の葉・LINEでオーダー」利用前後のイメージ>



木の葉モール橋本はファミリー層や子育て中の女性のお客様を中心に年間約601万人（2019年4月～2020年3月）にご来場いただく商業施設です。「木の葉モール橋本LINE公式アカウント（施設公式アカウント）」友だち数は約45,000名（2020年5月現在）まで増えており、施設公式アカウントからも「木の葉・LINEでオーダー」アカウントへ誘導でき、利用促進しやすいサービスです。

店舗側にとっても、注文・会計が終わっているため、調理に集中でき作業効率を上げることも期待できます。

■注文・決済・呼出通知専用のLINE公式アカウント「木の葉・LINEでオーダー」概要

利用開始日：5月18日（月）～

対象店舗：木の葉モール橋本 フードコート9店舗

（ケンタッキーフライドチキン・モスバーガー・うえすたん・中国大明火鍋城 木の葉キッチン
サーティワンアイスクリーム・ミスタードーナツ・サブウェイ・リンガーハット・因幡うどん）

※因幡うどんは店舗営業再開後の利用開始となります。

対象メニュー：セットメニュー・単品メニュー対応 ※一部対象外メニューあり

決済手段：LINE Pay

URL：<https://konohamall.com/foodcourttapp>

株式会社オルターブースのプレスリリース一覧

https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/43685

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

株式会社オルターブース 広報担当者：吉寄

メールアドレス：info@alterbooth.com